平成28年度　高坂丘陵地区防災訓練実施報告

平成28年10月26日(水)
東松山市自治会連合会高坂丘陵支部
防災・防犯委員会

1.目的

いざという時、先ず≪自助≫・自分の身は自分で守ること、次 に≪共助≫・近所の人達と互いに協力し合い助け合うという、防災意識の高揚 と、防災活動技術の向上を図ること

2.実施場所
高坂丘陵市民活動センター2階視聴覚ホール、コミュニティホール及び第二駐車場

3.実施日時
平成28年10月16日(日)　09：00～12：30

4.天候　　晴天

5.参加人数
194名（含む市職員）　別添資料参照

6.訓練内容

①防災講話	防災講話（東松山消防署 高坂分署長）
②避難訓練	高坂市民活動センターから第２駐車場へ避難
③暴風体験訓練	送風装置による強風を体験
④煙体験訓練	発煙装置による煙が充満した「煙体験ハウス」内で見え方等を体験
⑤地震体験訓練	起震車による地震発生時の揺れを体験
⑥初期消火訓練	水消火器により、消火器の扱い方及び消火を体験
⑦天ぷら鍋消火訓練	発火した天ぷら鍋に濡れた布を掛けることによる消火方法を体験
⑧応急手当訓練	応急処置として、人工呼吸、ＡＥＤの操作、怪我への対応について体験
⑨給水体験訓練	給水車を会場に配置し、緊急用の給水袋への給水体験
⑩炊出し訓練	非常時の食料、飲料の扱い方等を体験、非常食の試食
⑪防災倉庫備品等展示など	高坂丘陵地区防災倉庫内の主要な備品等の展示 ※各自治会防災資機材棚卸リストも展示 ※避難所（桜山小、白山中、大東大緑山キャンパス） の防災資機材棚卸リストについては訓練資料として添付した
⑫アンケート調査など	防災訓練等に関するアンケート調査への記入、

7.アンケート結果
別添　アンケート集計結果のとおり

8.課題
※もっとＰＲ活動を！
前年より参加者が増えたものの、さらにより多くの人に参加して頂くことが望ましい。
このため、当日メガホンによる参加呼びかけを行うなどのＰＲ活動も必要と思われる。

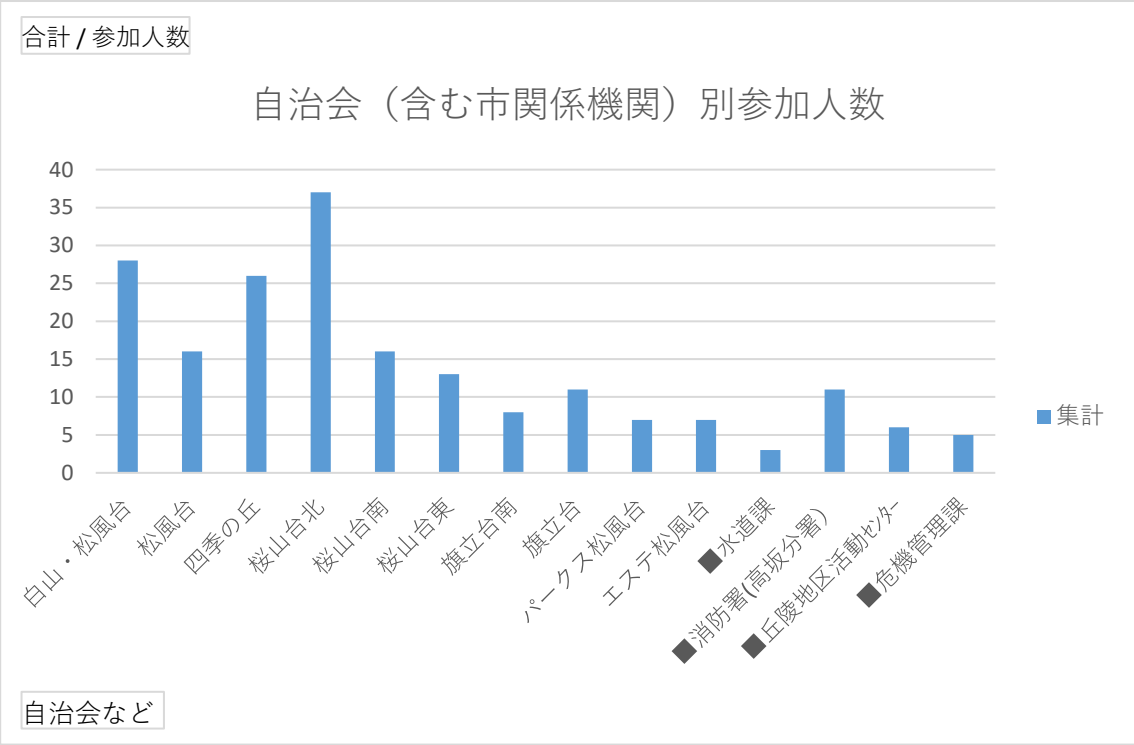
9.参考資料
平成28年度高坂丘陵地区合同防災訓練　写真集
タイムスケジュールと業務分担
高坂丘陵地区防災訓練　資料

給水訓練　パネル説明資料

以上

平成28年度 高坂丘陵地区合同防災訓練　自治会（含む市関係機関）別参加人数

自治会（含む市関係機関）合計 / 参加人数	
白山・松風台	28
松風台	16
四季の丘	26
桜山台北	37
桜山台南	16
桜山台東	13
旗立台南	8
旗立台	11
パークス松風台	7
エステ松風台	7
■水道課	3
■消防署(高坂分署)	11
■丘陵地区活動ｾﾝﾀｰ	6
■危機管理課	5
総計	**194**



h 28.10.19

高坂丘陵地区ﾊｰﾄﾋﾞｱまちづくり協議会

東松山市自治会連合会高坂丘陵支部　作成

平成２８年度 高坂丘陵地区合同防災訓練 アンケート集計結果

【アンケート総数】… １２８　　平成２８年１０月１６日（日）実施

１　お住いの地区は？

桜山台東　７　　桜山台北　３１　　桜山台南　１４　　白山・松風台　２０　　エステ松風台　４
四季の丘　１９　　松風台　１５　　パークス松風台　３　　旗立台　８　　旗立台南　７　その他 ０

２　年齢は？

２０歳未満　４　　２０歳台　２　　３０歳台　６　　４０歳台　９　　５０歳台　１９
６０歳台　４９　　７０歳以上　３９

３　これまでに地区の防災訓練に参加したことがありますか？　（参加した方は回数も記入）

はい　６５　　いいえ　６２
参加 … １回位　２０　　２回位　２２　　３回位　８　　４回位　３　　５回位　３
４～５回　１　　７回位　１　　８回位　１　　１０回以上　１　　毎回参加している　２

４　高坂丘陵地区で災害時の指定避難場所を知っていますか？　（知っている方は避難場所も記入）

はい　１１４　　いいえ　１１
避難場所 … 緑山キャンパス　２３　　白山中　３４　　桜山小　４６　　丘陵センター　２
三ヶ所ある　１　　なつめ公園　１　　山もも　１

５　本日体験した訓練はどれですか？

避難　８１　　暴風体験　９１　　煙体験　８８　　初期消火　９４　　天ぷら鍋消火　９４
応急手当　９３　　地震体験　１０３　　給水体験　９５　　炊き出し　７０　　炊き出し見学　２

６　災害時要援護者避難支援制度を知っていますか？

はい　５６　　いいえ　７２

７　ペットがいますか？　（飼っている方はペットの種類を記入）

はい　３４　　いいえ　９３
ペットの種類 … 犬　１８　　猫　１１　　兎　７　　亀　１　　ハムスター　１

８　今回の防災訓練についてのご意見等をお聞かせください。

○とても参考になりました。（２４名）○お世話になりました。○地震体験がよかった。○良かったです。○初体験のこともあり有意義だった。○応急手当を実感できました。○初めてですがよかった。次回も参加したい。○ブースの作り方等工夫されていてよかった。○大変役に立った。（多数）○良い体験だった。（多数）○体験は、毎年一回くらいは必要ですね。○いい経験になり有意義でした。○とても貴重な体験でした。○東日本大震災の体験ができてよかった。○実際に体験できてよかった。○地震体験が大変参考になった。○役員の皆様、お疲れ様でした。○訓練を今後に役立てていきます。○訓練は大切だと思う。○大変勉強になった。来年は子どもと一緒に参加します。○参加してよかった。○とても充実していました。○体験することが重要。○マグニチュード９の地震体験は貴重な体験であった。○いざというときパニクると思うので何回も参加しようと思う。○毎年の訓練で対応のしかたの確認ができて安心して生活できる。○何事も落ち着きが大事だと思った。○年々参加者が増えているように感じます。とても有意義なものでした。
○備蓄品の見直しをします。○体験訓練はしませんでしたが、色々とお話を聞かせていただきましたので、参考になりました。○何度か他で体験したこともありますが、改めて勉強になりました。○通常は体験できないことを学ばせてもらった。○久しぶりの全部体験、炊き出しはパスでしたが、充実しており参加してよかった。

【要望】

○毎年このような防災訓練を実施していただき、たくさんの方に参加してほしい。自分も毎年復習したい。○はしご車の訓練をしてほしい。○地震体験は音が大きすぎると思った。○役員以外にも、たくさんの人に来てほしい。○もう少しPRして、もっとたくさんの方の参加があればよいと思います。○これだけ大掛かりな体験ができてよかった。役に立ちます。役に立つからこそ大勢の人に来てほしい。もっと回覧等でPRするとよいと思いました。○数多くの人の参加を望む。○これからも続けてください。○いい体験になった。もっと続けてほしい。（年に何回か）

以上

平成28年　度高坂丘陵地区合同防災訓練　写真集

①支部長挨拶

②防災講話（市川分署長）

③避難誘導訓練

④暴風体験訓練

⑤煙体験訓練

⑥本部テント前集合

高坂丘陵地区ハートピアまちづくり協議会
自治会連合会高坂丘陵支部

平成28年　度高坂丘陵地区合同防災訓練　写真集

⑦地震体験訓練

⑧初期消火訓練

⑨天ぷら鍋消火訓練

⑩応急手当訓練

⑪給水体験訓練

⑫炊出し訓練

高坂丘陵地区ハートピアまちづくり協議会
自治会連合会高坂丘陵支部

平成28年　度高坂丘陵地区合同防災訓練　写真集

⑬アンケート調査

⑭非常食など受け取り

⑮防災倉庫備品展示

⑯非常食展示

⑰火災報知器展示

⑱各自治会防災資機材棚卸リスト展示

高坂丘陵地区ハートピアまちづくり協議会
自治会連合会高坂丘陵支部

平成28年度　高坂丘陵地区合同防災訓練　（2016年10月16日（日））　タイムスケジュールと業務分担

作成：市連合会高坂丘陵支部　防災・防犯委員会

時間	行事等	場所	指導者	備品等		業務分担と概要	
				消防署	市	担当	業務概要等
08：00	集合	コミュニティホール					➢　ハートピアおよび防災・防犯委員会のメンバー全員集合 ➢　担当等に関する概要説明。場所、配置等については配置図参照 ➢　天気状況の判断⇒結果を消防署に連絡（センター副所長）
08:00～09:00	受付準備	コミュニティホール			机（4台）、椅子（4脚）、ヘルメット（約100個）、中帽子（約100枚）、軍手（200組）※既にヘルメットを借り受けている自治会の役員はヘルメットを持参	計８名 松風台（2名） ﾊﾟｰｸｽ松風台（1名） 桜山台北（1名） 白山松風台（4名） （準備は防災・防犯委員会出席者で行う）	➢　コミュニティホールに受付準備 ➢　受付用机（2台）、荷物置用机（2台）、椅子（6脚）、ヘルメット（約100個）、中帽子（約100個）、軍手（各200組）、高坂丘陵地区防災訓練-資料　250部、参加者記入名簿　20枚（自治会毎に2枚）、筆記具（鉛筆10本）、ガムテープ（5本、表示板固定用）、　ﾍﾙﾒｯﾄ番号ｼｰﾙ：前日にﾍﾙﾒｯﾄに張り付ける ⇒10時以降はアンケート場所へ
	テント準備	第二駐車場			テント（３張）、机（4台）、丸椅子（12脚）、ハンドメガホン（1）		➢　第二駐車場に本部テント2張、炊出し1張 ➢　本部テント内に机（4台）、丸椅子（12脚）、ハンドメガホン用意 ※テント設営、机、椅子の搬出は前日に実施
09:00～10:00	受付	コミュニティホール ⇒アンケート調査場所			参加者名簿（20枚、自治体毎に2枚）、 ガムテープ（5本、表示板固定用）		➢　各自治会用の参加者名簿に住所、氏名等を記入してもらう ➢　高坂丘陵地区防災訓練-資料、ヘルメット、中帽子及び軍手を配布 ⇒　ﾍﾙﾒｯﾄを貸出した場合、ﾍﾙﾒｯﾄ番号を参加者名簿に記入 ➢　受付をすませた参加者を視聴覚ﾎｰﾙへ口頭で案内
09:30～09:40 09:40～09:55	開会挨拶　戸森会長 ①講話　市川分署長	視聴覚ホール			音響設備(一式) 机（1台）、椅子（3脚）	計2名 桜山台北（2名）	➢　司会進行　松下防災・防犯委員長 ➢　本日のスケジュール概要を説明する
10:00～10:10	②避難訓練 ・建物内からの避難	➢　視聴覚ホール　⇒　コミュニティホール　⇒　第二駐車場 （雨天時：中止）			避難誘導旗（6本）、ハンドメガホン（1）	計5名 四季の丘（1名） 旗立台（1名） 旗立台南（1名） ﾊﾟｰｸｽ松風台（1名） 桜山台北（1名）	➢　誘導旗を掲げ視聴覚ホールから暴風体験、煙体験を経由して本部テント前まで参加者を誘導 ➢　センター職員同行（1名）
10:10～10:30	③暴風体験	第二駐車場 （雨天時：中止）	消防職員	暴風装置		計2名 四季の丘（2名）	➢　消防担当者の指示
	④煙体験	第二駐車場 （雨天時：中止）	消防職員	発煙装置 煙体験ハウス		計2名 ｴｽﾃ松風台（2名）	➢　煙体験ハウスは消防側が煙充満環境をセット ➢　消防担当者の指示
10:40～12:00	⑤地震体験	第二駐車場 （雨天時： ⑤、⑥、⑦は中止 ⑧はコミュニティホール）	消防職員	起震車		計10名 旗立台南（2名） 桜山台南（2名） 旗立台（2名） 四季の丘（2名） 白山松風台（2名）	➢　【⑤～⑨訓練共通】 役員はグループのひとつを受け持ち五つの訓練が終了するまで訓練間の移動を誘導する。 体験者を選定（1訓練ﾒﾆｭｰ約16分）
	⑥初期消火訓練			水消火器（10本） 被消火用の的	軍手（受付で配布済）		➢　軍手をはめるよう指示 ➢　消火的、消火器等の配置は指導者の指示 ➢　消火器1本につき3人が体験。
	⑦天ぷら鍋消火訓練			天ぷら鍋（2個） シーツ（2枚）	ガソリン、灯油（各2Ｌ） 机（2台）、バケツ（2個）⇒水入り、軍手（受付で配布済）		➢　天ぷら鍋の設置台（机2台）を準備 ➢　水を入れたバケツ（2個）を配置 ➢　軍手をはめるよう指示
	⑧応急手当訓練			ダミー、AED（3台） 三角巾、担架	ブルーシート（2枚）		➢　ブルーシートの布設 ➢　三角巾、担架は二人一組20人の体験 ➢　人口呼吸、ＡＥＤ体験者の選定： ➢　その他作業等は消防署担当者の指示に従う
10:40～12:00	⑨給水体験訓練	第二駐車場 （雨天時：パネル表示と説明⇒1階ロビー）	水道課職員	給水車とﾜﾝﾎﾞｯｸｽ車、計２台　給水袋(200枚)（水道課）			➢パネル展示と説明　水道課 ➢給水車とワンボックス車を会場に配置し、緊急用の給水袋への給水体験
10:10～12:20	⑩炊出し訓練	調理室 （準備　10:00～　） 第二駐車場 （雨天時：コミュニティホール）	母の会、小中PTA		机（2台）、丸椅子　0脚　⇒炊出し訓練では不要、アルファー米（山菜おこわ：100食、五目：100食）、乾パン：(1缶64食×4缶)	**計10名** **母の会** **小中PTA**	➢　荷物置用机（2台）設置 ➢　非常食等必要数を調理室へ運搬および加熱等終了後第二駐車場へ運搬 ➢　非常食等の調理方法のデモ ➢　ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、非常食等の袋詰め（四季の丘委員1名、担当終了者は適宜協力）
	⑪防災倉庫備品等展示	第二駐車場 （雨天時：1階ロビー）	市職員（危機管理課）		必要機材等（必要数） **机（6台）**設置、ブルーシート（1枚）	計2名 桜山台東（2名）	➢　地区内に設置している防災倉庫の保蔵物品の展示 ➢　保蔵物品の展示用にブルーシート、荷物置用机（5台）設置 ➢　保蔵物品の搬入・搬出は市側が実施　※各自治会棚卸リストも展示
12:20	閉会挨拶　防災委員長	第二駐車場 （雨天時：コミュニティホール）			ポータブル音響設備		➢　主に閉会の挨拶に使用（センター職員が準備）
12:20:12:30 運営 10:10:12:30	⑫アンケート調査 （ヘルメット受領）	第二駐車場 （雨天時：コミュニティホール）	民生委員、自治会長	パンフレットなど（250部）	アンケート用紙（250枚）⇒ﾊｰﾄﾋﾟｱ **ごみ箱（1箱）** **机（3台）**、椅子（8脚　4脚は本部から） 防災マニュアルブック（250部）⇒危機管理課	**計15名** **民生委員（5名）** **ﾊｰﾄﾋﾟｱ、自治会長（10名）**	➢　**机（3台）**設置、丸椅子（8脚＝4脚+4脚は本部テントより移動） ➢　アンケート用紙を配布し記入を依頼 ➢　アンケート用紙を回収し、非常食等を配布　**注1）** ➢　ヘルメット回収、中帽子の廃棄　⇒ごみ箱へ ➢　注）アンケート結果の集計（四季の丘（1名）） **注1）非常食、ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ+ﾎﾟｹｯﾄﾃｨｯｼｭ、給水袋、防災ﾏﾆｭｱﾙをﾚｼﾞ袋に詰め渡す**
12:30～13:30	後片付け					**全員**	➢

※10月15日（土）　13:00～15:00 最終説明（コミュニティホール）の後、資材の確認、会場設営（テント張り、机及び椅子の設置）　参加者は防災・防犯委員会出席メンバー　※防災・防犯委員はヘルメットを持参

※27年度との違い　地震体験および給水訓練を追加　但し、はしご車等の消防車両展示については、今回は無し

※業務分担　基本的には平成27年度と同様